



昭和 44 年（1969）武里団地

広報写真にみる 1960 年ごろの春日部

春日部市郷土資料館



昭和 37 年 (1962) 春日部駅前 (東口)



昭和 35 年 (1960) ごろーノ割駅 (舗装前)



昭和 41 年 (1966) 豊春駅



昭和 40 年 (1965) ごろ南桜井駅



昭和 37 年 (1962) 国道 4 号一宮交差点



昭和 39 年（1964）古利根川（埼葛橋付近）でボーイスカウトがゴミ拾い



昭和 43 年（1968）歳末防犯パレード（粕壁東）



昭和 45 年（1970）植木市（粕壁東）



昭和 35 年（1960）米検査



昭和 36 年（1961）内牧（南里）での麦踏み



昭和 35 年（1960）二番除草



昭和 40 年（1965）稲を稲架にかける



昭和 37 年（1962）藤塚での洋桃出荷



昭和 40 年（1965）豊春でのトマト出荷



昭和 39 年（1964）町制施行後の大風あげ



昭和 40 年代桐箆筥製造



昭和 40 年代麦わら帽子づくり



昭和42年(1967)埼玉国体の看板
(旧春日部市役所前・粕壁東)



昭和40年(1965)春日部駅西口側の造成



昭和45年(1970)市役所建設



昭和41年(1966)建設中の北春日部駅



昭和 40 年（1965）建設中の武里団地



昭和 44 年（1969）武里団地



昭和 45 年（1970）日本脳炎予防注射（武里団地）



昭和 45 年（1970）武里団地の公園

高度経済成長期－1960年代の春日部は、まさに変化の時代でした。

埼玉国体（昭和42・1967年）の女子ソフトボールを行う大沼公園グラウンドの完成（昭和42・1967年）、春日部駅西口の造成の開始（昭和39・1964年）、北春日部駅建設と地下鉄日比谷線の乗入れ（昭和41・1966年）、武里団地（昭和41・1966年）、春日部市立病院（昭和44・1969年）、春日部市役所（昭和46・1971年）が完成など、公共施設や住宅が次々と誕生しました。このほか、国道16号岩槻春日部バイパスの開通（昭和42・1967年）、市立図書館の開館（昭和43・1968年、現在のまちなみ公園）、春日部内牧工業団地の完成（昭和46・1971年）などもこの時期のできごとです。春日部地区（旧春日部市域）の人口は昭和35年（1960）34,280人、人口密度904人であったものが、昭和45年（1970）に84,919人、人口密度2,241人と10年で2倍以上増加しました。



昭和44年（1969）古利根川（藤塚橋付近）

春日部デジタル写真館をご覧ください

<http://www.boe.kasukabe.saitama.jp/siryokan/studio.html>



編集・発行 春日部市郷土資料館

発行日 令和2年（2020）6月2日